

日本労働年鑑 第58集 1988年版
The Labour Year Book of Japan 1988

第三部 労働組合の組織と運動

I 労働組合の組織現状と組織動向

1 労働組合の組織状況

3 企業規模別組織状況

企業規模別組会員数、三〇〇人と一〇〇〇人以上で増加

民営の労働組合数および組会員数を単位労働組合についてみると、五万八〇七三組合、約九二四万九〇〇〇人で、前年にくらべて組合数は二四組合(〇・〇%増)、労働組会員数は約三万二〇〇〇人(〇・三%増)の増加となっている。これを企業規模別にみると、「一〇〇〇人以上」規模で組会員数で〇・五%、「三〇〇～九九九人」規模で一・八%の増加がみられる。しかし、それ以下の規模ではいずれも減少している(第50表)。

組会員数、「一〇〇〇人以上企業」で六割占める

一九八六年における民営企業の労働組会員数の企業規模別構成は、次のようになっている。「一〇〇〇人以上」の五三六万一〇〇〇人がもっとも多く、構成比で五八・九%と、六割近くを占めている。次が「三〇〇～九九九人」の一四四万三〇〇〇人(一五・六%)、さらに「一〇〇～二九九人」の一〇二万二〇〇〇人(一一・〇%)、「三〇～九九人」の四四万人(四・八%)、「二九人以下」の約六万五〇〇〇人になっている。なお「その他」は、約九一万九〇〇〇人で、構成比九・九%である。

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

****年**月**日公開開始

■←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)